

「すわ人物風土記」 次世代の記憶に

ふうじゅの会(諏訪)30周年記念で寄贈

諏訪地域の全中学高校へ



寄贈する冊子を手取る小松郁俊会長(右)と鮎澤宏威副会長

諏訪市信州風樹文庫の友の会「ふうじゅの会」は設立30周年を記念して、諏訪にゆかりのある歌人や画家ら7人の人物像などをまとめた講演録「すわ人物風土記」を諏訪地域の全中学校と高校に寄贈する。文筆家の故・市川一雄さん↓下諏訪町緑町↓による講演内容をまとめた2015年発刊の冊子。小松郁俊会長(76)は「郷土の資料として次世代の子どもたちや教育関係の方々に読んでほしい、記憶に残してくれたら」と期待している。

(松本佳林)

今回寄贈する冊子では、劇 ころし、貴重な資料とともに掲載している。

作家の阿木翁助や画商の原田 政雄、歌人の島木赤彦、今井 邦子、童画家の武井武雄、画家の矢崎博信、軍人の永田鉄山について、それぞれの生い立ちや作品、周囲への取材などを収録。市川さんが2006～14年まで開いた連続講座「風樹文芸サロン」の人物誌シリーズの講演内容を書き起

岩波書店の創立者 岩波茂雄が古里に建てた「信

州風樹文庫」の新築移転に伴って1993年に発足。「八ヶ岳のように裾野が広い」活動を目標して、同文庫を拠点に講座や読書会などの文化活動を展開する。小松会長は風樹文庫が広く地元の人に知ってもらうまで成長できてうれしい」と振り返り、「これからも多くの地域住民に利用していただきたい」と話す。冊子はB5判、167ページ、これまでに約500部を発行した。希望者は同文庫で購入可能。税込1600円。